

## 苦手にチャレンジ！

今日は、「夏至」といって、一年で一番昼間の時間が長い日です。

さて、先週は、挨拶についてお話ししました。校長先生は、主に新校舎の階段の所で朝の挨拶をしました。5, 6年生の元気に登校してくる姿、笑顔で挨拶してくれる声を聞いてとてもうれしい気持ちになりました。

校長先生は、今週もいろいろなところで挨拶をしたいと思います。元気に挨拶を交わしましょう。

今日は「チャレンジ」ということについてお話しします。

皆さんは、今、チャレンジしていることはありますか。

「チャレンジ」というと、私は「得意なことへのチャレンジ」と「苦手なことへのチャレンジ」があると思います。どちらも素晴らしいことです。「得意なことへのチャレンジ」は、楽しいし、やりがいもあります。でも、時として他人と比べて自分ができるとか、できないとかということで、喜んでみたり落ち込んでみたりすることもあるような気がします。人と比べてできていれば嬉しくなり、それを自信にする反面、自分より出来ている人を見ると落ち込んでみたり、やる気を失ってみたりということはありませんか。自分よりあの人にはできるなと思ったら「その人を目指して頑張ろう」というのが、本当の「得意なことへのチャレンジ」ですね。

それに対して、「苦手なことへのチャレンジ」は、人と比べることはあまりないように思います。野菜を食べるのが苦手な人が、ちょっとでも食べられるように頑張ろうと挑戦する時、隣で山盛りのサラダを食べている人を見て落ち込むということはあまりないように思います。「苦手へのチャレンジ」では、比べるのはちょっと前の自分自身です。どこまでも自分を高めよう、よりよい自分になろうという心が「苦手にチャレンジ」する自分を支えます。「苦手にチャレンジ」することは、自分自身を磨くことになるのです。だから、「苦手にチャレンジ」する人は、人の頑張りを感じ、それを自分の力に変えることのできる強く優しい人になります。皆には、強い心、深い優しさをもった人になってほしいと思っています。

頑張っている人同士は、お互いが信頼で結ばれていきます。そこには足のひっぱりあいなどありません。皆さんのクラスはどうですか。認め合い、励まし合う温かいクラス、学校を創っていきましょう。その主役は一人一人ですよ。

でも、チャレンジするあまり、生活リズムを乱すことのないよう、無理のないように頑張しましょう。

今日は「苦手にチャレンジ」で強く優しい人になろうというお話でした。

これで、今朝のお話を終わります。